

授業科目	* 基礎英語 (A クラス)				単位	1		
履 修	必修	関連資格				ナンバリング	TO11601J	
開講年次	1 年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP1-3			
担当教員	林 裕二							
授業概要	1. 担当教員が指定したテキストに取り組む。 2. 英語を声を出して読むことができるようになるトレーニングをする。 3. 多読テキストに取り組む。							
学生が達成すべき行動目標	1. 比較的長い英文の読解ができる。 2. 習慣として英文を読むことができる。 3. 自分の選んだジャンル、レベルの本を意欲的に読み、基本的な英文を含むレポート(9 回分以上の Weekly Report )を書くことができる。 4. E-Learning の CHleru の学習マイルを授業時間外に 400 以上を獲得する。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	20	20	0	0	10	100	
知識・理解 (DP1-1)	20					10	30	
知識・理解 (DP1-2)	30		20				50	
知識・理解 (DP1-3)		20					20	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1 辞書を使わずに比較的長い文の読解ができる。 2 月3冊以上の英文の本を読むことができる。				1 辞書を使って比較的長い文の読解ができる。 2 月2冊の英文の本を読むことができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復

				習時間 (分)
1	オリエンテーション 大学での英語の学習方法の基本を学ぶ	講義	テキストの最初の章の2ページの和訳をする。	60
2	テキストの該当箇所の和訳をする。 多読の方法を学ぶ。	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	60
3	テキストの該当箇所の和訳をする。 多読における語彙力増強について学ぶ。	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	60
4	テキストの該当箇所の和訳をする。 多読の英会話への応用を学ぶ。	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	60
5	テキストの該当箇所の和訳をする。 速読の方法を学ぶ。	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	60
6	小テスト テキストの該当箇所の和訳をする。 英文の流れのつかみ方を学ぶ。	小テスト、演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	60
7	テキストの該当箇所の和訳をする。 読解のリスニング力への応用を学ぶ。	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	60
8	テキストの該当箇所の和訳をする。 読解の英作文力への応用を学ぶ。	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	60
9	テキストの該当箇所の和訳をする。 動詞句の訳し方を学ぶ。	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	60
10	テキストの該当箇所の和訳をする。 副詞句の訳し方を学ぶ。	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	60
11	小テスト テキストの該当箇所の和訳をする。 自然な日本語訳ということ学ぶ。	小テスト、演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	60
12	テキストの該当箇所の和訳をする。 法を学ぶ。	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	60
13	テキストの該当箇所の和訳をする。 関係詞を含む文章の訳し方を学ぶ。	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	60
14	テキストの該当箇所の和訳をする。 不定詞の用法の違いによる訳し方を学ぶ。	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	60
15	小テスト テキストの該当箇所を和訳する。 前期全体の復習をする。	小テスト、演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	60
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	高校までに学んだ英単語を確実に身につけておく。			
テキスト	担当者が指示したテキスト 共通テキスト: カラー版 TOEIC テストに での順英単語 河上 源一 (著) ブルース ハード (監修) Bruce Hird (原著) *このテキストは、最初からp184 までがこの授業の範囲です。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	本学の図書館にある多読教材 NHKの英語講座「Enjoy Simple English」や「ラジオ英会話」、「英会話タイムトライアル」、「高校生からはじめる「現代英語」」等は続けて利用すると効果的です。 毎日ウィークリー 音声 ( <a href="http://mainichi-podcasting.cocolog-nifty.com/weekly/">http://mainichi-podcasting.cocolog-nifty.com/weekly/</a> )			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	E-Learning の CHIeru の学習マイルは、指定期間内に400 マイル以上を達成します。これは授業外の時間にします。オリエンテーション中に詳しく説明します。これは評価(その他)の10%に当たります。部分点はありませぬ。 図書館の多読教材を毎週、読む。多読図書については、オリエンテーション時の「英語の多読」の時間に説明します。これは評価(レポート20%)に相当します。9回分以上の Weekly Report を提出して、多読記録用紙を提出します。この20%については部分点はあります。 スマートフォン			
達成度評価に関するコメント	日頃の出席と多読のレポート(= weekly report )の提出が大事です。CHIeru のマイル達成も大切です。CHIeru で英語に触れれば触れるほど、聞く力、読む力は伸びていきます。自動的に送られてくる「週刊英語」は楽しく学ぶことができます。			